

令和7年度入学料免除申請要領【第2回目提出分】

下記に掲げる「1. 免除選考対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。免除を希望する者は、下記により申請してください。

1. 免除選考対象者

- (1) 大学院研究科に入学する者で、経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業が優秀であると認められる者 *注：学類生はこちらの理由では申請できません

2. 申請書類

- (1) 入学料免除願 (別紙様式第1) 【第1回目提出済】
(2) 提出書類一覧表 (別紙様式3) ... 3頁
(3) 私費外国人留学生の入学料免除等に関する調査 ... 5頁
(4) 本人等の収入状況申立書 ... 7~8頁
(5) (2) で該当する証明書類 } 【第2回目提出】

3. 受付期間

Table with columns for start/end dates and rows for application periods. Includes a note: '第1回目の「入学料免除願」申請後に第2回目提出の手続きを進めてください。' and a box for the 2nd submission period: '令和7年3月15日~令和7年4月1日 (受付期間最終日の17時必着のこと)'.

4. 送付先

第1回目提出書類：入学手続書類に同封して提出してください。
第2回目提出書類：必ず簡易書留で下記宛てに郵送してください。
〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学 学生・留学生課 生活支援係 入学料免除担当

5. 注意事項

- (1) すでに入学料を納入している者は、免除申請できません。
(2) 選考結果が発表されるまでの間、免除を申請した者は、入学料の徴収が猶予されていますので納入しないでください。
(3) 選考結果については、学生向け連絡サイト (LiveCampus) でお知らせいたします。(8月中旬予定)
(4) 選考結果が不許可又は半額免除になった者は、結果発表の日から14日以内に所定の入学料を納入するか、学生・留学生課に徴収猶予の申請をしてください。
(5) 申請書類に不備がありますと選考から除外されますので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。
(6) 選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。
(7) 月額10万円(半期60万円)以上の給付奨学金を受給する場合は免除対象者になりません。

<参考>免除選考基準

(留学生用)

前ページの「1. 免除選考対象者」の(1)に該当すると認められる者は、申請者の属する世帯(以下、「世帯」という)の特別な事情によって異なりますが、おおむね下記の「1. 収入基準」以下であり、かつ、「2. 学力基準」を満たしていることが最低条件となりますので申請する際の参考にしてください。

なお、あくまでも「免除選考対象者」に該当すると認められるのであって、条件を満たしているからといって必ずしも免除になる訳ではありません。

1. 収入基準

世帯の特別な事情により異なるが、世帯の年間総所得金額が次の収入基準額以下であること。

区分 世帯人員	大学院生(修士・博士前期)		大学院生(博士後期)	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
1人	124万円	168万円	160万円	204万円
2人	180万円	224万円	240万円	284万円
3人	205万円	249万円	273万円	317万円
4人	220万円	264万円	294万円	338万円
5人	236万円	280万円	316万円	360万円
6人	245万円	289万円	330万円	374万円

* 総所得金額＝総収入金額－(1)必要経費－(2)特別控除額

(1) 必要経費

○給与収入者(給与収入者が2人以上いる場合は各人別に行う、収入金額は所得税等控除前の額)

- ・収入金額104万円以下 ⇒収入金額と同じ
- ・収入金額105万円～200万円の場合⇒収入金額×0.2+83万円
- ・収入金額201万円～653万円の場合⇒収入金額×0.3+62万円
- ・収入金額654万円以上の場合 ⇒258万円

○給与収入以外の者(商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等)

その収入を得るために費やした経費(税申告書の必要経費)

(2) 特別控除額(世帯の特別な事情)

就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母(父)子家庭に該当する場合等に控除されます。

就学者＝小学：31、中学：46、高校：39～118、高専：39～118、専修39～147、大学：74～180

心身障がい者＝99、母(父)子家庭＝99 単位：万円

※各種ローン・借金等の負の所得は、一切控除の対象になりません。

2. 学力基準(大学院研究科)

出身大学(博士後期課程入学者については修士課程または博士前期課程)で修得した科目数の70%以上が「良」(B)以上の成績であること。

* 学力判定は、出願時に提出された成績証明書等を参考にします。

全員提出

別紙様式3

令和7年度【入学料】免除申請提出書類一覧表(大学院留学生用)

受験番号	
氏名	

該当欄に○印を付す

	提出書類	備考	発行所等	本人 チェック		大学 チェック	
1	免除願	本学所定の様式 (別紙様式第1)	第1回目書類提出済				
2	提出書類一覧表	本学所定の様式 (別紙様式3、この表)		○			
3	私費外国人留学生の入学料免除等に関する調書	本学所定の様式		○			
4	本人等の収入状況申立書	本学所定の様式 (配偶者が同居している場合は必ず裏面・配偶者分も記入すること)		○			
5	令和5年分所得課税証明書	令和6年1月現在で、日本にいた場合(配偶者も含む)	市区町村役所	○			
<p>※所得課税証明書の名称は自治体によって名称が異なります。 ※課税額の内訳(所得割額、均等割額)配偶者控除、扶養者控除人員数等の記載があるものを取得すること。</p>							
6	令和6年分の源泉徴収票または最近の給与明細のコピー	アルバイト従事者は必ず提出すること(配偶者も含む)	勤務先				
7	アパートの契約書のコピー※	学生寮・国際交流会館に居住している者は除く	当該者保管分	○			
8	最新の光熱・水道料請求書または領収書のコピー	全員提出	当該者保管分	○			
9	最新の電話料金請求書または領収書のコピー	全員提出	当該者保管分	○			
10	成績証明書	本学以外の日本の大学を卒業した者		○			

注意事項

- ① 提出する証明書類については、本人チェック欄に○印をすること。
- ② 各種証明書類は申請書の3か月以内の証明のものに限る。
- ③ 7※アパートの契約書は、アパートの名称、住所、居住者の名前、家賃が確認できる部分をコピーして提出すること。
- ④ 請求書や領収書は、書類を並べてA4判1枚にコピーしたものを提出すること。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

全員提出

私費外国人留学生の入学料免除等に関する調書

受験番号 _____

氏 名 _____

本人の家計及び生計（基準日の前月の状況を記入すること）			
収 入（月額）		支 出（月額）	
仕 送 り	円	住 居 費	円
親 戚 等 の 補 助	円	食 費	円
奨 学 金	円	医 療 費	円
ア ル バ イ ト	円	交 通 費	円
	円	光 熱 水 道	円
	円	通 信 電 話	円
	円	国 民 健 康 保 険 料	円
	円	そ の 他	円
計	円	計	円
(現況の概要)			

*申請基準日：令和7年4月1日

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

本人等の収入状況申立書（大学院留学生用）

福島大学長 殿

受験番号 _____

氏 名 _____

このたび、福島大学の入学料免除等の出願にあたり、本人の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

1. 前年（令和6年1月～12月）にアルバイト等していた場合に1年間の総収入額を記入すること

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

2. 本年（令和7年1月～12月）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合に、1年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

3. 令和7年度の仕送りについて（必ず記入すること）

続柄 _____ から年額 _____ 円（予定額を含む）

注 意 事 項 等

- ① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
- ② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
- ③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

配偶者の収入状況

※配偶者がいる私費外国人留学生は、配偶者の収入状況を下記に記入してください。

このたび、福島大学の入学料免除等の出願にあたり、配偶者の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

1. 前年（令和6年1月～12月）にアルバイト等していた場合に1年間の総収入額を記入すること

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

2. 本年（令和7年1月～12月）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合、1年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
計			

3. 令和7年度の仕送りについて（必ず記入すること）

続柄_____から年額_____円（予定額を含む）

注 意 事 項 等

- ① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
- ② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
- ③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。